

### 台本トラック3：2人だけの秘密

---

「全部脱がせても、良い？」

「僕しか、見ていませんから」

「すべすべしたその肌を、もっと味わいたいんです」

「……そんな顔されたら、脱がせるしかないでしょう？」

(布の擦れる音)

(ベッドの軋む音)

「今から、ここに入るんですよ？ 僕のモノが」

(グチュグチュ音)

「じゃあ、入れますね？」

「……っ……きつい……痛くはありませんか？」

(グチュグチュ音)

「はあ……ん……でも、よく濡れていて、締りも良い」

「舌、出してください」

「……うん。いい子ですね」

「ん……う……ちゅ……んんっ……ちゅう……ちゅっ……」

「ねえ……」

「耳、舐められるの、好き……？」

「反応が、良いから……」

「好きかなって」

「んっ……ちゅっ……はあ……ちゅっ……ちゅっ……」

「ピチャ……ピチャ……」

「ちゅ……ピチャ……んっ……」

「はあ……」

「すご……キュウウってなる……」

「気持ち良いですね？」

「もっと、してあげます」

「ふう……ん……っ……ちゅっ……ピチャピチャ……」

「はあ……はあ……ピチャ……んっ……ちゅ……」

「可愛い声……」

「もっと、聞かせて……」

「一緒に、乳首も……」

「ちゅ……ちゅっ……」

「凄く勃ってる……」

「コリコリって、硬くなって……」

「ああ……もっと……」

「もっと、奥まで入れて良いですか……？」

(布の擦れる音)

(ベッドの軋む音)

「奥までトロトロ……」

「分かりますか？」

「奥まで当たっているの」

「んん……」

「ここ、ですか？」

「一番気持ち良いところ」

「擦ると……」

「突くと……」

「どっちが良いです？」

「ふふっ……」

「分かりました」

「じゃあ、いっぱい僕なので擦りましょうね」

「ん……」

「音、聞こえますよね？」

「繋がっているところから」

「グチュグチュ……って……」

「どうして、首を振るの？」

「……恥ずかしい？」

「僕は、嬉しいですけどね」

「感じてくれているって、ことでしょう？」

「……貴女が、もっと欲しい」

「何も考えられなくなるくらいに」

「壊してしまいたい」

「んつ……んん……ちゅう……」

「……愛していますよ」

「普段の貴女も」

「僕の腕の中で、喘いでいる貴女も」

「どちらも、愛おしい」

「僕の方を、見て？」

「貴女の、よがる顔が見たい」

「僕だけが見られる顔……」

「離さない……」

「ちゅ……ちゅっちゅっ……」

「もっと、気持ちよくしてあげる」

「中に入れながら、クリも弄って」

「乳首もコリコリって……」

(布の擦れる音)

「腰が、浮いていますよ？」

「ホラ、貴女のでもう、クリがヌルヌルになっている……」

「クリもコリコリしてますよ？」

「ふふっ……」

「言葉にならないくらい、気持ち良いの？」

「それなら、イクまで擦ってあげる」

「このままクリと……」

「中の気持ち良いところね？」

「グリグリって一緒に擦ったら……」

「すぐにイっちゃうかな？」

「イク時は、ちゃんと教えてくださいね？」

「イッちゃう……って」

「キュウキュウ締まる……」

「……気持ち良いね」

「そろそろ、我慢出来なくなりませんか？」

「それなら、僕の腕を掴んで」

「イク時は、言うんですよ……？」

「ええ、そうです」

「さあ……」

「よく、出来ましたね」

「ご褒美に、奥まで……！」

(ベッドの軋む音)

(布の擦れる音)

「ああ……イッちゃいましたね」

「その表情……」

「ゾクゾクします」

「このまま、動かしますよ？」

「良いですよね？」

(ベッドの軋む音)

(布の擦れる音)

「グチュグチュで……気持ち良い……」

「ずっと中に入れていたいのに……」

「我慢も難しいなんて」

「いけない身体だ」

「んん……そろそろ、出しますね」

「なにか……？ 勿論、中に、ですよ？」

「私の精液、受け止めてくださいね？」

「心配しないで？ 責任のとれない男じゃありませんよ？」

「貴女の全てが、僕は欲しいんです」

「この方がきっと、貴女も気持ちいいから

「……ね？」

「んう……ちゅう……ちゅっ……ちゅっちゅつ……ん……」

「はあ……」

「はあ……はあ……出しますよ…っ……！」

(肌のぶつかる音。湿った感じで)

「ああ……つ……はあはあ……はあ…」

「ちゅ……」

「……二人だけの秘密が……出来ましたね？」